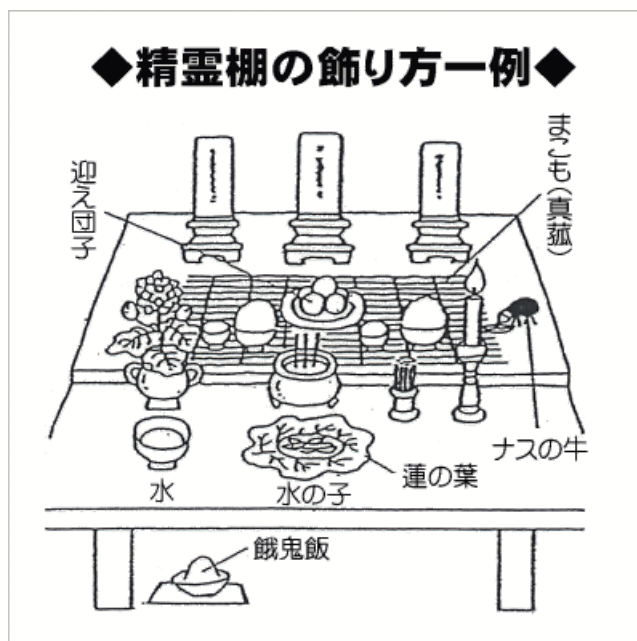


普仙寺だより

<<

>>

第191号 平成23年7月



お盆の精霊棚の一例。
机に真菰(まこも)を敷き仏壇の中からお位牌を移します。
香炉・灯明・花立・水向け皿・水の子・茄子の牛・胡瓜の馬。

シーベルト

福島第一原子力発電所の事故以来、「シーベルト」という単位をよく聞きます。由来を調べてみました。

「シーベルト」は、スウェーデンの物理学者の名前です。彼は1896年生まれ、1966年死亡。

放射線が人体に与える影響について研究しました。

1929年国際放射線防護委員会の設立当初から委員を務め、1958年から1962年までは委員長を務めました。

彼の死後、1979年国際度量衡総会は被曝線量当量の単位として「シーベルト」を定義しました。

嘉禄の法難、選択集通読

去る6月20日、嘉禄の法難の前々日に、知恩院御廟前にて『選択集』通読を行いました。第1章から第16章までの全部です。

参加者は加藤良光と伊勢教区蓮浄寺住職堤康雄上人、滋賀教区法蔵寺住職阿頼耶文雄上人の3名でした。



平成23年6月20日 嘉禄の法難『選択集』通読 知恩院御廟拝殿にて
(左)加藤良光(右)阿頼耶文雄上人



平成23年6月20日 嘉禄の法難『選択集』通読 知恩院御廟拝殿にて
(左)加藤良光(右)堤康雄上人

総本山知恩院800年法要住職講演 参加者募集

4月6日予定の法要が9月28日に延期されました。住職講演もこの日になりました。檀信徒の皆さんに参加して頂きたいと思いここに再度ご案内します。

日時

平成23年9月28日(木)

出発 午前7時

帰着 午後7時

日程

午前7時 普仙寺

午前11時 知恩院

途中より参加 吉水講詠唱奉納大会

正午 昼食

午後1時 住職講演

午後4時 京都東インター

午後7時 普仙寺

費用

バス代・昼食代・参拝代 合計8,000円

申込

申込用紙に必要事項を記入して普仙寺へ提出して下さい

定員

45名

締切

9月8日(木)

(定員になり次第締め切らせて頂きます)

第46回 暁天講座

空気一息、水一滴、一椀の食事など生き生きとした寿(いのち)の働きにより今日の一日がある。この生かされる側から、生かされる方に気配りができれば、苦を越えられよう。簡単なことだが、それだけに難しい。人生は出会いである。自分を縦糸として、出会う人々を横糸として生涯の織物ができていく。善い出会いを大切にしたいものである。蝉しぐれの暁天に、講師の先生方から、この道を拝聴させていただこう。

とき

平成23年7月20日(水)、21日(木)、22日(金)

毎朝6時～7時

ところ

豊橋市花園町 豊橋別院

主催

豊橋仏教会・豊橋仏教奉賛会

7月20日(水)『歴史に学ぶ』～生活体験から～

元高校教諭・現市民大学講座講師 山西 秀一(やまにしひでかず) 先生

現代社会では、計算・通信・情報の高速化が進み、さらに技術革新が目覚ましい時代です。その中で東日本大震災、その惨状は…。昭和前期の自らの体験がよみがえってきます。歴史の題材は身の回りに存在し、自分の生活体験より調べる糸口があります。

7月21日(木)『崖っぷちでも余裕顔～笑っていれば大丈夫！！～』

落語家 月亭 遊方(つきてい ゆうほう) さん

阪神淡路大震災の際、笑いの無力さを痛感すると同時に“キレイごとではない自然な笑い”に出会う。その経験から生まれた「笑い福祉の心」では、“無理せず前向きになるポイント”を自身の体験を交えて説得力いっぱい語ってくださいます。

7月22日(金)『現代における坐禅と念仏の意味について』

京都大学・大谷大学名誉教授 荒牧 典俊(あらまきのりとし) 先生

いま欧米諸国において仏教思想にまなざしが注がれています。先生が客員教授として渡米され、教壇に立たれた際に感じたことをもとに、仏教思想の基底に係わるところをわかりやすくお話しくたさいます。

住職の短歌

昨年に詠んだ短歌の続き(前回は5月号)を掲載します。

七夕の京都の街に音響く祇園祭の鉦と横笛
この年の七夕祭星祭思ひの人に逢ふは幸せ
七月の三河の稲田強光緑の色は麗しきかな
夏休みプール登校声弾むイチニイサンシニイニイサンシ
鴨川の岸辺に咲ける百日紅緑の中の淡き桃色
一面の青田輝く町を見る夏の日本の原の風景
公園の赤き花房百日紅夏海岸の風に揺らめく
リズムあり青年教師拡声器プールサイドの声の勢ひ
夏畑玉蜀黍の花見れば手作り人の笑顔ある哉
八月の陽射し受容の伊吹山男子の様は如何にある可き
遺跡の勝林院の堂を見る祖師の論理の清澄の様
横浜の青葉区そこは田畑あり葬儀の為に駅に降り立つ
日曜のこどもの国の駅に着く若き家族の想い出作り
出棺の挨拶喪主はその昔五人家族の楽しきを言ふ
佐多岬半島の様窓の下つぶさに見ゆる風力の列
善導寺開祖聖光上人の銅像の前我も合掌
熊本の田園平野緑よし電車に乗りて飽かず眺むる
熊本の講習会の壇に立ち祖師霊場の歴史説きたり
知恩院門跡様のお別れに和讃唱へて柩見送る
詠唱を指導せる人養成す秋の東京芝増上寺
秋の夜の小雨降り行く銀座道人々交はず言葉楽しげ
知恩院浄土門主の表葬に来迎和讃皆と唱へり
海光る焼津の町に集ひ来て詠唱教司玉講を聴く
まさひろよ我が青春の良き友よ何故かくも早く旅立つ
良光よおい良光と声掛くるお前の声が今も聞こゆる

あの時の練習試合サッカー部野太き声はお前であるか
喫茶店入ってコーヒー注文とお前の声が拓郎歌ふ
ギター弾き河島英五そのままにお前の声の低音響く
ケラケラと笑ふ声ありドライブの最中すべて歌を歌へば
京都での生活終へて帰郷する引っ越し作業お前の助力

寺行事案内

盆大施餓鬼会（ぼんだいせがきえ）

平成23年7月29日（金） 午後2時～午後6時半

時間申し込みをして下さい。

詳細は6月号にあります。

お盆の棚行（おぼんのたなぎょう）

8月1日より15日まで

日程・時間は葉書にてご通知します。

お盆の迎え方

8月13日

1. 盆棚飾り

小机または膳引き板に真菰（まこも）の筵（むしろ）または蔭（ござ）を敷き、仏壇の中からご先祖のお位牌をお移して安置します。

天井より女竹または苧殻（おがら）を水平に吊るし、五如来の幡（はた※1）や、鬼燈（ほおずき）を掛けます。

お位牌の前には、香炉・灯明・花立て・霊供膳・水向け皿・溝萩（みそはぎ※2）・水の子（みずのこ※3）・茄子の牛・胡瓜の馬・野菜・果物・団子・おはぎ等をお供えします。

※1 幡（はた）

盆大施餓鬼の際にお渡します。

※2 溝萩（みそはぎ）

水向けの為の草花・ミソハギ科の多年草で
淡紅紫色の六弁小花を長い穂状に密生させている。
溝萩がない場合は南天の葉で代用します。

※3 水の子（みずのこ）

茄子のサイの目切りと洗米を混ぜたものを蓮の葉に盛りつけます。

2. 提灯飾り

お迎え提灯・家紋提灯

3. 迎え火

先にお墓の前でタイマツを焚き、次ぎに自宅門前でタイマツを焚きます。

4. お供物

迎え団子・お水をお供えしてお精霊（しょうろう）さまをお迎えます。

8月14日

3度のお膳、菓子・果物・野菜など

8月15日

1. 3度のお膳、菓子・果物・野菜など

2. 送り火

先に自宅門前でタイマツを焚き、次ぎにお墓の前でタイマツを焚きます。

3. お供物

お供物(なまもの)を普仙寺門前の納め所へ納めます。

8月16日

1. 灯籠流し

牟呂市場町の柳生川の河岸にて、夜7時より。

初盆の方は無料。材料を8月13日に普仙寺で配布します。

初盆以外の方は、材料代500円。本堂に置いておきます。

8月25日

1. 魂まつり(提灯納め)

豊橋仏教会主催行事。

松葉公園にて午後5時より7時まで。

納め料2,000円以上。